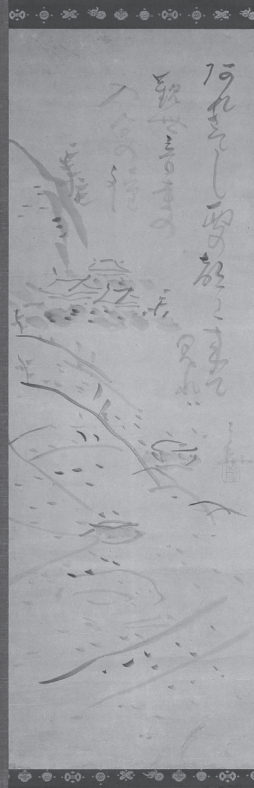


令和5年11月号

令和5年11月1日発行（毎月1日発行）

第24巻 第11号 通巻284号



仙厓「観世音寺図」。画賛の和歌は「あればてし西の都に来てみれば観世音寺の入合の鐘」。古代日本の西の拠点、太宰府も観世音寺の他には、往時を偲はせるものは残っていないことを嘆く。先月号のクローズアップは観世音寺の楼閣だが、ドイツニアニメのドナルドダックの顔のように見えた。田畑の中の二つの丸い池のような存在も河童の顔のように見えて響き合う。「鐘」の字の金へんと峰の松と里の松と、さらに「厓画」の署名までが呼応してうねる。無造作に打たれたように見える田畑の植物の点々も、まるで微笑む人面のように見えてくる。線も点もアニミズム的生命感に満ちている。仙厓の風景は、人物、動物より落ちるといふ先入観をもっていたが、たしかに打ち砕かれた。（小澤 實）

澤 11月号 目次

澤俳句鑑賞 282

岡田一実…………… 18

森下秋露…………… 20

窓

俳書を読む

大畑善昭『寒星』／田子慕古『霧襖』／柴田美佐『深紅』

／小田島渚『羽化の街』／椎名果歩『まなこ』

木内縉太…………… 22

澤通信句会のお知らせ…………… 4

小澤 實 巨石 デンマーク遊吟抄 十五句…………… 8

高橋睦郎 季語練習帖 第一六七回…………… 10

潺湲集 小澤 實選…………… 12

喜雨のなか 大和寿美子 鯖 オオタケシゲヲ

踏むべからず 野崎海芋 相のせ鰻重 石橋志野

絡みつつ 木内縉太 健次 望月とし江

嫁して三月 結城あき 輪ゴムに埃 川上弘美

父の死 金澤諒和 厭な目つき 戸田いぬぶぐり

震災忌 片岡昌子 酢橋輪切 川又憲次郎

五指 加納 燕 スタートボタン 妹尾題弘

ご機嫌よう 大文字明成 玉音 大野善雄

仙厓最中 栗生

詩文学芸書を読む

海野 敏『バレエの世界史』 根岸哲也…………… 24

総合誌俳句鑑賞

「俳句」「俳壇」各九月号 今朝…………… 26

俳句結社誌を読む

「麒麟」令和五年春 創刊号 梶等太郎…………… 28

定例句会の秀句 服部つぐみ…………… 30

通信句会の秀句 蔵田かをり……………32

仙厓のこと 八 栗生……………34

潺湲集巻頭作家インタビュー 山岸樵鹿……………36

澤集巻頭作家インタビュー 平嶋さやか……………37

俳句を豊かにするもの

ロフト 鑑賞と共有体験について想う……………38

富士峰律子 ある十一月の旅……………39

同人代表句 石田秀子／天野正子……………40

同人一句鑑賞 沼田美山／篠田洋子……………41

澤齋……………42

澤四十句 小澤 實選……………44

選後独言 降雨を歓喜する踊り 小澤 實……………46

澤集 小澤 實選……………48

平嶋さやか／山口土器／清水ましろ／牧原奈緒美／奥井健
太／柳元佑太／矢島俊缶／大堀 柔／町田無鹿／堀江嘉子
／原 拓也／沼田美山／松川みゆき

新入会員……………80

消息／10月号発送報告……………81

俳人協会編「俳句カレンダー」頒布のご案内……………82

第237回定例会11月ご案内／

「俳句を豊かにするもの」原稿募集のお知らせ……………83

「澤」創刊二十周年記念俳句大会作品集 補遺……………84

澤俳句叢書一覽……………85

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／

澤基金募集のお願い……………86

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………87

澤句会・カルチャー一覽……………88

広告……………89 後記……………94

デザインⅡ山口信博 写真Ⅱ大友洋祐 表紙監修Ⅱ栗生

澤
令和5年11月1日発行
澤 俳句会
頒価 1,200円